

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 2025年5月6日

事業者情報					
事業者名		株式会社 SUIHO SPACE INNOVATIONS			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役			
	氏名	柚沢 誠			
ホームページ URL (任意)		<a href="https://www.suiho-space.co.jp">https://www.suiho-space.co.jp</a>			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>弊社は2030年には持続可能な宇宙輸送手段である長寿命再使用型ロケットの実用化を目指します。開発において必要な炭化水素系燃料の使用量を削減し、アジャイル型モデルベース開発を中心とした開発手法を導入する先進企業を目指します。</p> <p>航空宇宙産業では非常に少ない、ジェンダー平等な会社を目指し、資格取得・育児環境の整備に尽力しつつ、大田区の事業所を中心とした製造業の皆様との協業に尽力します。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可）          （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
				●	
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>
	○	○	●		○
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	
○	●		●		

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)		SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)		目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	<input type="checkbox"/>	【メイン】 9 13	【社会課題・環境課題の解決】 ・現在の宇宙輸送機は使い捨てであり宇宙空間や海へ破棄され、燃料も化石燃料が90%以上を占めます ・これらを解決する新技術の実用化を目指します
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>	【サブ】	
	環境	<input checked="" type="checkbox"/>	12 14	
②	経済	<input checked="" type="checkbox"/>	【メイン】 5 8	【就業環境・平等性の改善】 ・社員が積極的に資格取得できる、および育児が行える業務環境を整えるため、社内規程・制度を整備します
	社会	<input checked="" type="checkbox"/>	【サブ】	
	環境	<input type="checkbox"/>	10 16	
③	経済	<input checked="" type="checkbox"/>	【メイン】 9 12	【開発にかかる産業廃棄物の削減】 ・現在は宇宙輸送機の開発に多くの産業廃棄物が排出され、かつ多量の化石燃料が使用されています ・IT技術を中心とした最新の開発手法を導入し、これらの削減を目指します
	社会	<input type="checkbox"/>	【サブ】	
	環境	<input type="checkbox"/>	13	

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケットの再使用化に向けた新製品を開発し販売を開始しました。</li> <li>・大田区企業との密な取引により、新製品の納期を20%短縮するとともに供給能力を強化しました。</li> </ul>		
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児・介護休業規程とコンプライアンス規程を整備しました。</li> <li>・テレワークを導入し、柔軟な働き方を可能にしました。</li> </ul>		
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン燃焼試験における新規制御技術を導入し、</li> </ul>		

<p>試験期間の短縮とともに使用燃料を 20%削減しました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・通常破棄していた積層造形用材料の回収・再利用に成功し、材料消費を 30%削減しました。</li></ul>		
---	--	--